

平成24年度 住まいのインテリアコーディネートコンテスト  
白い翼のあるワンルーム

クライアントの要望・条件

東京の下町エリアにある、元靴工場兼事務所ビルを共同住宅へとリノベーションするプロジェクトである。そのワンフロアを4つの部屋へと分割し、それぞれ違うデザイナーによって、単身者向け賃貸部屋（ワンルーム）へとリノベーションする、というのがクライアントの要望である。また、ワンフロアの分割方法として、共用部から放射状に4等分し、各部屋の形状を扇形にするという、ユニークな条件が与えられた。

コンセプト

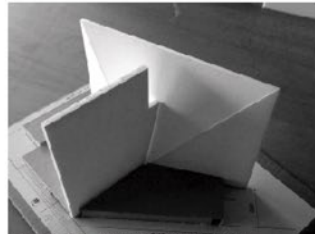
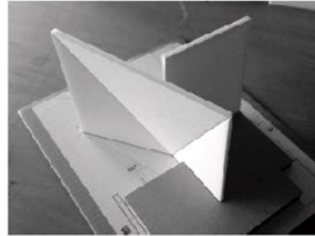
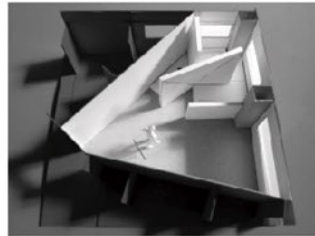
最小限のコストで最大限の効果を生み出す。それは、需要が増え続けるリノベーション・デザインにおいて、大きな課題のひとつである。扇形という部屋形状に合わせて、「立体的に折れた壁」をつくり、水周りのスペースと仕切る。その折れた壁のみを白色に塗装し、その他は既存状態を生かし灰色とすることで、まるで「白い翼」があるようなアクセントを生み出している。また、「白い翼」はレフ板のような役割を果たし、部屋の奥にまで光を届ける機能も持っている。

またるインテリア・エレメント

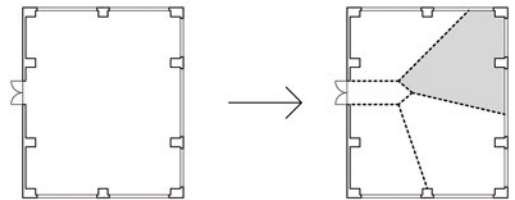
床：既存RC+ウレタンクリア塗装  
壁：石膏ボード+AEP塗装  
天井：既存RC

概算予算

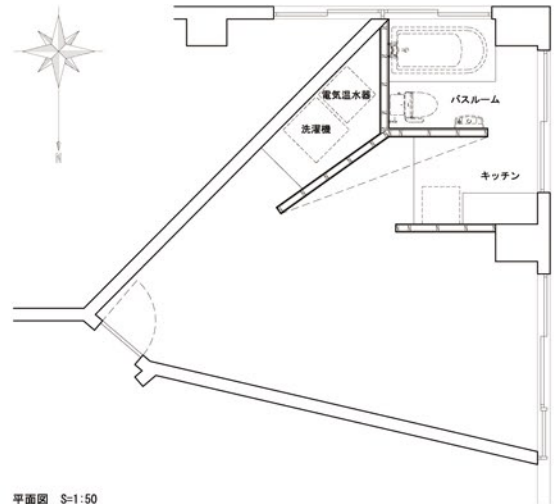
約180万円（税込み、設備器具費含む）



スタディ模型。光の反射する角度を検討する。



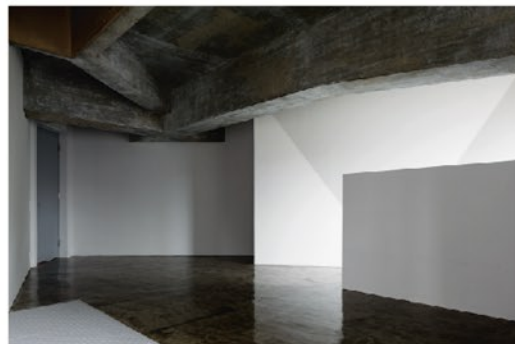
ワンフロアを4つの部屋へと分割し、それぞれ違うデザイナーによって、リノベーションする。



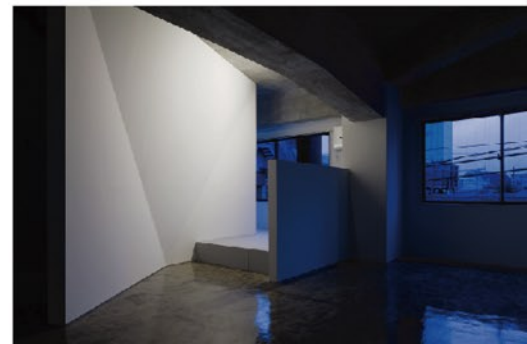
平面図 S=1:50



玄関より部屋全体を俯瞰。



「白い翼」はレフ板のような役割を果たし、部屋の奥にまで光を届ける。



夕景。「白い翼」に光を当てるとの間接照明になる。